

教育委員会

教育行財政	X IV - 1
学校教育	X IV - 3
社会教育・文化財	X IV - 11
博物館	X IV - 14
図書館	X IV - 19
市民スポーツ	X IV - 23
国体推進	X IV - 24
学校人権教育	X IV - 25
教育・視聴覚センター	X IV - 27

教育行財政

● 教育委員会開催状況 (平成28年)

会 議	議 案 件 数
16回	34件

● 審議状況 (平成28年)

	制 定	廃 止	全部改正	一部改正
条 例	1 件	—	—	3 件
規 則	1 件	—	—	8 件
規 程	—	—	—	1 件
要 綱	—	—	—	—

● 市内の教育機関 (平成28年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	一校	— 人	一校	— 人	2校	1,232人	2校	1,232人
高校全日制	—	—	9	7,690	4	2,645	13	10,335
定時制	—	—	2	780	—	—	2	780
通信制	—	—	1	1,086	1	691	2	1,777
中学校	22	8,667	—	—	3	589	25	9,256
小学校	38	16,285	—	—	1	399	39	16,684

● 市内児童・生徒数の推移 (公立) (平成28年5月1日現在)

年度	小 学 校		中 学 校	
	計		計	
平成16	17,562		8,266	
17	18,432		8,470	
18	18,396		8,610	
19	18,363		8,565	
20	18,469		8,613	
21	18,496		8,501	
22	18,136		8,659	
23	17,795		8,811	
24	17,523		8,886	
25	17,299		8,822	
26	16,843		8,748	
27	16,513		8,828	
28	16,285		8,667	

● 教育費

(単位：千円)

費目	平成26年度	平成27年度	平成28年度
教育費 (A)	9,972,191	8,680,438	10,149,384
教育総務費	2,190,517	2,344,494	2,346,127
小学校校費	2,558,485	2,492,321	2,449,180
中学校校費	1,657,083	1,445,681	2,350,991
幼稚園費	804,483	894,138	942,423
社会教育費	2,092,142	903,567	935,688
保健体育費	669,481	600,237	1,074,975
一般会計歳出額 (B)	108,962,376	118,622,112	107,640,341
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	9.2%	7.3%	9.4%

※他部局での執行分を含む。

● 児童・生徒1人当たり教育費 ※いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校	105,781	114,158	113,371
中学校	92,383	92,402	102,063

● 学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

年度 事業	平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	校	事業費	校	事業費	校	事業費	
小学校	校舎新增築	—	—	—	—	—	
	大規模改修	3	347,609	2	142,326	2	197,997
	空調施設整備	34	112,244	35	109,253	32	96,778
中学校	校舎新增築	1	520,256	1	175,700	1	969,098
	大規模改修	—	—	1	189,251	2	278,619
	空調施設整備	18	56,219	18	54,633	14	42,017

● 学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分(備品)	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	14,604	—	15,080	—	16,482	—
	保健	695	—	952	—	1,063	—
	給食	3,469	—	5,574	2,152	9,581	1,470
中学校	理科教育等教材・管理	14,522	—	14,610	—	15,936	—
	保健	700	—	484	—	682	—
	給食	537	—	369	—	537	—
共同調理場	給食	0	—	0	—	0	—
合計		34,527	—	37,069	2,152	44,281	1,470

・学校教育

● 第3次四日市市学校教育ビジョン【平成28～32年度】

○ 目指す子どもの姿 「輝く よっかいちの子ども」

子どもたちが自立した人間としてたくましく生きていくために、また、他者と協働し、共に未来を切り開いていくために「生きる力」「共に生きる力」を育むことを基本理念に据える。

自身が身に付けた知識・技能を実生活で応用するとともに他者と協働しながら問題を解決していく主体的・能動的な能力としての「社会人になっても通用する問題解決能力」の養成を図る。

○ 「輝く よっかいちの子ども」実現のための6つの基本目標

・子どもにつけたい力

(1) 確かな学力の定着

主体的に学習に取り組む姿勢と、基礎的基本的な知識や技能及び思考力・判断力・表現力を養う。

(2) 豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成

学ぶこと社会とのつながりを意識した様々な活動を通して、基本的生活習慣や規範意識、自己有用感、他者と協調し思いやる心など、豊かな人間性を育む。

また、自治能力や、他者との豊かな人間関係を形成するためのコミュニケーション能力を育む。

(3) 健康・体力の向上

運動やスポーツに親しみ、運動習慣を身に付けることによって、たくましく生きるための体力の向上を図る。

また、自他の健康・安全について実践していく力を養う。

・子どもを支える学校づくり

(4) 学校教育力の向上

学校経営の充実、教職員の資質・能力の向上、安全・安心の教育環境の整備、連携を生かした教育や個々のニーズに応じた教育を推進する。

(5) 地域とともにある学校づくり

学校・家庭・地域がそれぞれの教育的な役割と責任を自覚し、生活リズムの向上など家庭の教育力向上を支援するとともに、家庭や地域と連携・協働した教育活動に取り組む。

(6) 四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進

産業と環境、文化が調和するまち四日市ならではの地域資源を教育に生かすことにより、ふるさと四日市に誇りと愛着を持ち、社会の一翼を担う人材を育成するための教育を推進する。

● 平成28・29年度学校教育指導方針

(指導の力点) 生きる力・共に生きる力の育成

- ・ 連続性・系統性を重視した教育による「なめらかな縦の接続」の実現
- ・ 家庭、地域、関係機関等と連続した「地域とともにある学校づくり」の推進
- ・ 四日市の地域資源を生かした「ふるさと四日市にふさわしい学び」の実現

(具体方針)

確かな学力の定着

基礎的・基本的な知識・技能の定着 思考力・判断力・表現力等の育成 指導と評価の一体化の充実
少人数指導の充実 ICTを活用した授業の充実 外国語活動・英語教育の充実
遊びを通しての「学び」の充実

豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成

道徳教育の推進 生徒指導の充実 人権問題を解決する行動力の育成 読書活動の推進
子どもの発達段階に応じたキャリア教育の推進 特別活動の充実

健康・体力の向上

体力・運動能力の向上 心と体の健康教育の推進 学校・園教育活動全体を通じた食育の推進
日常生活に生きる安全教育の充実

学校教育力の向上

教職員の資質・能力の向上 幼保小中の連携を生かした教育「学びの一体化」の充実
特別な教育的支援の充実 多文化共生教育の充実

地域とともにある学校づくり

家庭・地域の教育力の向上 四日市版コミュニティスクールの推進

四日市ならではの地域資源を生かした教育の推進

歴史・文化・自然を活用した教育の推進 高度なものづくり産業と連携した教育の推進
公害対策モデル都市としての環境教育の充実

● 特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況 (H28. 5. 1 現在)

学級の種類	小 学 校		中 学 校	
	校 数	学級数	校 数	学級数
知的障害	32	37	19	21
自閉症・情緒障害	35	40	16	16
肢体不自由	5	5	4	4
難聴	1	1	1	1
弱視	1	1	0	0
通級指導教室 (言語)	3	7	0	0
通級指導教室 (情緒等)	4	5	1	1

2. 特別支援学級在籍児童生徒数 (H28. 5. 1 現在)

区 分	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	難聴	弱視	計
小学校	173	183	6	5	2	369
中学校	101	60	5	2	0	168
計	274	243	11	7	2	537

● 保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

・主食は、地場産の特別栽培米の米飯給食を週3回実施している。パンは県内産小麦粉を30%混入して地元業者で焼いたパン給食を週2回実施している。

・副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。

・中学校22校では市教育委員会が栄養バランスのとれた献立作成や食材の選定に十分に関わって、民間給食業者によるデリバリー方式の給食を実施している。

1. 学校給食実施状況 (平成28年度)

区 分		小 学 校	中 学 校 （ワリアー方式）
実 施 校 数		38校	22校
対 象 人 員		16,285人	8,667人
調 理 員 数		※ 247人	—
1食当たり額	パ ン	53円66銭	—
	米 飯	62円52銭	—
	牛 乳	49円68銭	—
	パ ン 副 食	142円40銭	—
	米 飯 副 食	133円54銭	—
1 食 当 た り 経 費		245円74銭	300円
年 間 実 施 予 定 回 数		188回	180回
徴 収 額 （ 1 ヶ 月 ）	高 学 年	4,300円	（一食）
	低 学 年	4,100円	300円

※調理員内訳 正職員39人 再任用職員1人 パート職員87人 民間委託120人

2. 栄養摂取量（小学校） (平成28年度)

エ ネ ル ギ ー		636kcal
た ん 白 質		24.5 g
脂 肪		20.0 g
カ ル シ ウ ム		341 mg
ビ タ ミ ン	A	205 μgRE
	B ₁	0.34 mg
	B ₂	0.53 mg
	C	29 mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額 (金額単位：千円)

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
小学校	1,036	28,389	985	10,415	862	9,972
中学校	1,264	16,448	1,332	17,425	1,247	16,053
合 計	2,300	44,837	2,317	27,840	2,109	26,025

4. 保健担当者一覧 (平成28年5月1日現在)

職 名	配 置 状 況	人 員 数
学 校 医	1校1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	57人
学校歯科医		77人
学校薬剤師	本務小学校21人、中学校11人	35人
保 健 主 事	各小・中学校1人	60人
養 護 教 諭	各小・中学校1人（日永小・海蔵小・常磐小2人） （大矢知興譲小学校巡回養護を含み2人）	64人

5. 年齢別体位と平均値

(平成28年度)

区 分	男 子				女 子				
	身長 (cm)		体重 (kg)		身長 (cm)		体重 (kg)		
	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	
幼	5	110.4	109.4	18.9	18.4	109.4	109.3	18.5	18.2
	6	116.5	115.9	21.4	20.9	115.6	114.8	20.9	20.4
小	7	122.5	122.0	24.0	23.8	121.5	121.3	23.5	23.3
	8	128.1	127.7	27.2	26.8	127.2	126.8	26.4	26.1
	9	133.6	133.1	30.6	30.1	133.4	133.1	29.8	29.8
	10	138.8	138.3	34.0	33.5	140.2	139.8	34.0	33.9
	11	145.2	145.1	38.4	38.3	146.8	146.0	39.0	38.1
中	12	152.7	152.4	44.0	43.6	151.9	151.7	43.7	43.2
	13	159.9	159.3	48.8	48.4	154.8	154.9	47.2	46.8
	14	165.2	165.2	53.9	53.2	156.5	156.2	50.0	49.4

● 奨学金事業

1. 貸与内容 (平成28年度)

名 称	四日市市奨学会
対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子
【貸与額】 大学、短大、専修学校 (専門課程)	23,000円/月 入学支度金 35,000円
【貸与額】 高校、高専、専修学校 (高等課程) 等	12,000円/月 入学支度金 30,000円

2. 貸与状況 (新規貸与者数)

年度	高校生 (専修学校)	大学生 (専修学校)	合計
平成			
22	20	32(9)	52(9)
23	10	30(4)	40(4)
24	17	20(2)	37(2)
25	21	16(4)	37(4)
26	20	19(5)	39(5)
27	15	19(6)	34(6)
28	12	16(3)	28(3)

() は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
事 項	卒業1年後	10年を限度	年賦	毎年1月末日まで

● 私学助成

(平成28年度)

区 分	教育補助
小・中学校、高等学校等	市内在住児童・生徒1人年額 市内に設置されている学校の場合 3,800円 市外に設置されている学校の場合 3,000円

● 就学援助

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

平成28年度実績

(単位：円)

区 分	金 額
小 学 校	114,532,400
中 学 校	84,200,077
計	198,732,477

1. 小学校

(平成28年5月1日現在)

校名	所在地	創立 年月日	教職員数(人)	児童数(人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5. 3. 15	30	379	13	3	13	6
浜田	北浜田町 13-6	明 8. 9. 20	28	495	17	2	18	7
橋北	川原町 25-22	平 25. 4. 1	18	207	9	1	10	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8. 7. 1	44	767	27	3	27	7
塩浜	塩浜町 1	平 26. 4. 1	15	178	8	1	14	6
富田	富田一丁目 24-49	明 20. 7. 1	38	713	21	4	26	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9. 9. 30	27	425	14	2	21	8
羽津	大宮町 16-35	明 7. 5. 10	30	552	18	2	20	7
常磐	城西町 9-14	明 8. 12. 5	42	730	24	3	27	7
日永	日永四丁目 5-13	明 8. 11. 10	37	661	20	2	23	6
四郷	西日野 3207-1	明 9. 2. 4	26	433	14	3	14	6
内部	采女町 888-1	明 7. 2. 3	30	528	18	1	25	7
小山田	山田町 1373-1	明 8. 12. 1	16	183	7	1	10	6
河原田	河原田町 70	明 8. 11. 9	19	236	9	1	10	6
川島	川島町 2046	明 8. 11. 28	38	831	26	2	27	6
神前	曾井町 493-1	明 8. 2. 4	18	215	7	2	11	6
桜	桜町 1257	明 8. 7. 1	28	384	13	2	18	7
県	赤水町 1002	明 7. 5. 4	24	350	13	3	21	6
三重	東坂部町 222-2	明 8. 11. 1	29	510	18	2	18	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7. 3. 16	42	773	26	3	26	7
八郷	平津町 99-1	明 25. 6. 1	25	397	13	2	20	6
下野	朝明町 475-1	明 9. 3. 1	26	440	15	2	18	7
保々	西村町 2741	明 7. 4. 25	27	390	14	2	17	7
水沢	水沢町 2491	明 8. 12. 4	14	177	6	1	10	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38. 5. 7	18	228	10	2	11	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46. 4. 1	28	454	14	4	17	6
笹川東	笹川六丁目 25	昭 48. 4. 1	21	194	7	2	10	6
常磐西	大字松本 764	昭 48. 4. 1	45	826	26	4	27	6
笹川西	笹川五丁目 62	昭 50. 4. 1	24	264	10	2	20	7
三重西	三重三丁目 129	昭 50. 4. 1	25	354	12	2	20	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50. 4. 1	28	521	18	2	20	7
桜台	桜台一丁目 32	昭 52. 4. 1	22	270	11	3	13	7
三重北	山之一色町 90	昭 53. 4. 1	21	255	11	1	12	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53. 4. 1	14	184	6	1	9	6
羽津北	大字羽津 500	昭 57. 4. 1	29	513	16	3	17	6
内部東	采女町 423-4	昭 59. 4. 1	29	529	18	2	19	5
中央	元新町 2-36	平 7. 4. 1	16	156	6	1	10	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8. 11. 20	38	583	20	4	22	8
合 計 [38校]			1029	16285	555	83	671	248

2. 中学校

(平成28年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数 (人)	生徒数 (人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22. 4. 15	33	350	11	2	11	8
橋北	高浜町 1-4	昭 22. 4. 15	14	109	5	1	8	8
港	十七軒町 10-41	昭 22. 4. 15	21	252	9	1	10	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22. 4. 15	16	126	5	1	10	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22. 4. 15	45	703	20	2	20	9
富田	東茂福町 4-19	昭 22. 4. 15	25	341	10	3	15	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22. 4. 15	25	283	10	2	14	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22. 4. 15	31	438	14	3	18	9
南	前田町 18-17	昭 22. 4. 15	36	593	19	2	20	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22. 4. 1	33	496	16	2	16	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22. 4. 1	33	544	17	2	19	10
朝明	平津町 409-2	昭 22. 4. 1	42	659	19	2	21	9
保々	西村町 2787-2	昭 22. 4. 15	22	248	9	1	9	8
常磐	大字松本 810	昭 48. 4. 1	46	672	20	4	20	10
西陵	西山町 7229	昭 51. 4. 1	18	205	7	1	10	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51. 4. 1	22	236	9	1	15	10
三重平	三重八丁目 1	昭 52. 4. 1	25	297	10	3	11	9
羽津	大字羽津甲 26	昭 54. 4. 1	33	496	15	2	16	8
西朝明	北山町 1169	昭 54. 4. 1	25	314	10	2	14	8
桜	桜町 1064	昭 57. 4. 1	28	396	13	2	17	10
内部	波木町 697	昭 60. 4. 1	33	563	16	2	17	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22. 4. 15	25	346	11	1	14	10
合 計 [22 校]			631	8667	275	42	325	197

※ 「普通」は加配学級・独自学級を含めた実学級数

※ 「特支」は特別支援学級数を示した外数

※ 「教職員数」は市費・県費常勤の職員から代替教員を除いた数

● 私立小・中学校一覧（市内）

1. 私立小・中学校

（平成28年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創立年	教員数	児童・生徒	学級数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	34人	399人	16
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	25	430	12
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	29	103	4
四日市メリノール学院中学校	平尾町2800	昭39	20	56	3
合 計 [4校]			108	988	35

※教員数には兼務者を含む

・社会教育・文化財

● 社会教育

<平成28年度主要事業>

(1) 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

(2) 学校施設（教室）開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、38小学校3中学校で学校施設（教室）開放を行った。

(3) 四日市まちじゅうこども図書館事業

まちじゅうで、子どもが自然に本に触れられる環境づくりを行い、子どもの読書活動の推進及び本を通じた多世代交流を図るため、四日市まちじゅうこども図書館を、平成28年3月に市内の店舗や医院、金融機関、事業所等93館（図書支援2,357冊）で開館した。平成28年度は新たに8館を開館（図書支援193冊）し、読み聞かせ会を2回開催した。

● 文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保護・活用は、市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせるまちづくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保護するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努めた。

平成28年12月1日にユネスコ無形文化遺産に登録された「鳥出神社の鯨船行事」については、普及啓発のため、DVD番組やリーフレットの制作及び、博物館での展示やシンポジウムを開催した。

<平成28年度主要事業>

1 文化財の指定・登録

- ・「木造阿弥陀如来坐像」（市指定有形文化財（彫刻） 平成29年3月22日指定）
- ・「木造薬師如来坐像」（市指定有形文化財（彫刻） 平成29年3月22日指定）
- ・「三重郷土資料館（旧三重村役場書庫）」
（国登録有形文化財（建造物） 平成28年11月29日登録）

2 文化財の調査・整備・維持管理

・指定文化財の整備

国指定重要文化財（建造物）「末広橋梁（旧四日市港駅鉄道橋）」の歯車等調査工事、県指定史跡「日永の追分」の鳥居修繕（建替）、市指定無形民俗文化財「椿岸神社獅子舞」の笛・衣装復元新調、市指定無形民俗文化財「浜田大山車の舞獅子」の竿復元新調

・文化財説明板の整備

〈新設〉・市指定史跡「富田一本松」

・市指定有形文化財（建造物）「旧四日市市役所四郷出張所（四郷村役場）」

・四郷ふるさとの道ルート案内版（西日野駅前）、四郷ふるさとの道「吉田神社」

〈修理〉・市指定史跡「万葉史跡と聖武天皇社」、県指定有形民俗文化財「鯨船山車」（南納屋町）、市指定有形文化財（彫刻）「十一面観音菩薩立像」（安性寺）、ユネスコ無形文化遺産（国

指定重要無形民俗文化財)「鳥出神社の鯨船行事」

- ・久留倍遺跡保存活用事業
久留倍官衙遺跡整備検討委員会の開催、遺構の立体表示として正殿建設、雨水排水施設布設、電気管理施設等の整備、ガイダンス施設の映像制作、草刈等の維持管理
- ・天然記念物保存事業
御池沼沢植物群落の環境整備(竹林侵入対策、浚渫実験)、タケノコ掘り会
- ・旧四郷出張所維持管理事業
建物管理、敷地草刈、現況調査及び耐震診断
- ・文化財指定地等の除草・清掃
御池沼沢植物群落・東阿倉川イヌナシ自生地・西阿倉川アイナシ自生地・桜町シデコブシ群落・広古墳A群・大膳寺跡・旧四日市市役所四郷出張所(四郷村役場)・天武天皇迹太川御遥拝所跡・茂福城跡・冠山茶の木原・保々の中世旧跡・永井遺跡公園・貝野遺跡公園
- ・文化財パトロール
埋蔵文化財や天然記念物等の現状及び環境保全の状況把握を行う調査(埋蔵文化財担当調査員6人・天然記念物担当調査員1人)

3 文化財保護の普及・啓発

- ・第63回文化財防火デー(文化財収蔵施設の防火査察と消防訓練 1/11~29)
- ・「第19回発掘展~子どものための考古学~」(四日市市立図書館 7/27~8/21)
- ・四郷ふるさとの道ウォーキング(10/29)
- ・川向山添遺跡発掘調査現地説明会(9/10)
- ・上野遺跡発掘調査現地説明会(1/14)
- ・「富田の鯨船」見学と体験ツアー開催(8/15)
- ・「鳥出神社の鯨船行事」ユネスコ無形文化遺産登録記念シンポジウム(四日市市文化会館 12/11)
- ・「鳥出神社の鯨船行事」がユネスコ無形文化遺産の登録に至る経過を撮影したDVD番組及びリーフレット制作(日本語、英語、中国語)
- ・鯨船山車(神社丸)展示(四日市市立博物館1階エントランスホール 12/6~12/11)
- ・久留倍官衙遺跡出土品展(あさけプラザ 10/1~12/22)
- ・久留倍遺跡まつり 史跡公園の整備計画・講演会・壬申の乱の演劇を、実行委員会形式で実施(四日市市文化会館 11/6)
- ・『久留倍官衙遺跡整備ニュース vol.6』、『同 vol.7』作成
- ・「四日市市埋蔵文化財コレクション」市内の遺跡から出土した遺物の展示(市役所1階ロビー 通年)
- ・御池沼沢植物群落のパネル展示(市役所1階ロビー 通年)
- ・『御池沼沢ハンドブック No.7』
- ・文化財整理作業所、久留倍官衙遺跡、旧四日市市役所四郷出張所の見学
- ・出前講座等18回実施

4 埋蔵文化財の発掘調査等

開発計画地内に所在する遺跡で、現状保存が困難なものについて発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、文化財整理作業所において出土遺物の整理・復元作業や報告書作成、保管等を行っている。

- ・発掘調査…貝野遺跡、川向山添遺跡、上野遺跡
- ・試掘調査…西野遺跡、貝野遺跡、風呂田遺跡、大矢知山畑遺跡、北山B遺跡、下之宮南遺跡、上畑遺跡、上野遺跡、四方天遺跡、庚申塚遺跡、大池遺跡、東山遺跡、小古曾城跡、宮の西遺跡、

- 赤堀城跡・赤堀、沢ヶ上遺跡、瀬戸山遺跡、尾平宮前遺跡延べ24件
- ・工事立会…尾平宮前遺跡、下之宮南遺跡、北中寺遺跡等延べ59件
 - ・報告書作成…『北山A遺跡』 『一般国道1号北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報X II』

・博 物 館

博物館は、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。

その後、20年が経過し、プラネタリウム投映機器や常設展示の経年劣化が進む中、「四日市公害と環境未来館」の博物館内への併設が決まり、プラネタリウム及び常設展示のリニューアルと一体的な整備を進め、新たな魅力を備えた施設として、平成27年3月21日にリニューアルオープンした。常設展示は、古代から近世までの各時代の特徴を表す建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場とした。プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境についても投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場として特色あるプラネタリウムとした。

● 施設概要（平成27年3月21日リニューアルオープン後）

所在地	四日市市安島一丁目3番16号		
敷地面積	1,845.84㎡		
建築面積	1,590.40㎡		
延床面積	10,147.11㎡		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建		
	6階	373.48㎡	プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡	プラネタリウム、コスミックギャラリー、コスミックラウンジ
	4階	1,343.05㎡	特別展示室
	3階	1,251.01㎡	博物館常設展（時空街道、丹羽文雄記念室）
	2階	1,321.33㎡	四日市公害と環境未来館常設展
	1階	1,466.32㎡	エントランスホール、講座室、ショップ、図書スペース、 研修・実習室
	地下1階	1,536.71㎡	収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡	収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合 計	備 考
24年度	300日	24,522人	32,723人	45,293人	102,538人	特別展3回・企画展2回
25年度	298日	24,579人	20,641人	40,876人	86,096人	特別展3回・企画展1回
26年度	45日	7,355人	4,533人	7,649人	19,537人	特別展1回・企画展0回
27年度	294日	71,143人	15,181人	59,195人	145,519人	特別展1回・企画展3回
28年度	288日	56,454人	18,800人	63,310人	138,564人	特別展2回・企画展2回

※26年度はリニューアル工事のため長期休館有

● 博物館事業

1 常設展

新しい常設展は「時空街道」として、基本テーマを「四日市のまちの発展の歴史と、そこに暮らし
た人々の生活の変化」とし、各時代を特徴づける建物を原寸大で再現した体感型の展示に変わった。

〈 時空街道の旅 〉

博物館で扱う原始・古代から近世までの流れを映像で絵巻物のように見せる。

〈 久留倍の村 〉

久留倍遺跡で出土した弥生時代後期の竪穴住居を再現。この村が道に接していたことから奈良時代
の朝明郡衙となることを紹介。

〈 四日の市 〉

四日市のまちの発祥となった室町時代の市を再現。店舗の形態や、取引される品物などを紹介。

〈 四日市宿 〉

江戸時代の東海道の宿場町を再現。問屋場、旅籠の他に、間の宿にみられる茶店などを再現。

〈 四日市湊 〉

2階の四日市公害と環境未来館につなぐ展示として、湊で賑わった江戸時代と、明治初年の衰退期、
港の修築によって近代港湾となった四日市港のその後の発展を紹介。

〈 丹羽文雄記念室 〉 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等
を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テ
ーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

〈 特別展等 平成28年度開催 〉

- 特別展 バケモノあつめ 妖怪・幻獣の世界へようこそ
- 特別展 2016 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展
- 企画展 古今やきもの饗宴 館蔵陶磁器セレクション
- 特別企画展 昭和の暮らし 昭和のこども

〈 学習支援展示 平成28年度開催 〉

- 大昔の四日市 ー弥生時代と古墳時代ー
- 四日市空襲と戦時下の暮らし

〈 特別陳列 平成28年度開催 〉

- 新収蔵品展
- 館蔵品展Ⅰ「萬古焼」
- 時空街道展「伊勢参宮」
- 館蔵品展Ⅱ「鯨船」
- 館蔵品展Ⅲ「お正月～酉年～」
- 館蔵品展Ⅳ「四日市の劇場」

3 教育普及事業

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館学課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。さらに、体感型の常設展の案内をする博物館ボランティア、丹羽文雄記念室の語り部ボランティアの活動により観覧者の展示理解を深めている。また、館蔵資料の解説を行う古文書ボランティアの活動も継続して行っている。

4 資料の収集保存事業

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実に努め、その保存に努める。なお、収集資料の専門事項について、審議または指導・助言をいただくため「資料委員会」を設置している。

5 調査研究事業

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等の調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

● プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

1 プラネタリウム投映事業

プラネタリウムでは、5階フロアを宇宙の港（GINGA PORT 401）と位置づけ、宇宙から見た星空や宇宙から見た地球という新たなコンセプトをもとに、約1億4000万個の星を映し出すことができる世界最先端の技術を盛り込んだプラネタリウム機器を平成27年3月に導入し、観覧者をはるか宇宙の旅へと誘う。

四季の星空と宇宙をテーマとした季節番組（一般番組、ファミリー番組、星空番組）や夜間特別番組を投映し、宇宙や地球環境、最新の機器の特性を生かした満天の星空の世界を提供している。また、ヒアリンググループ受信機の貸出し、車いす用リフトや遮音室を設置し、どなたにもプラネタリウムを楽しんでもらえるように環境を整えている。

《平成28年度季節番組》

〈一般番組〉

- ・ 赤い惑星 火星が接近！
- ・ コズミックフロント ～時間旅行～
- ・ 月とこよみ
- ・ オーロラの調べ 神秘の光を探る
- ・ 太陽系最大の惑星 木星

〈ファミリー番組〉

- ・ プラネタリウムちびまる子ちゃん ～星にねがいを～
- ・ 妖怪ウォッチ ～プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい！～
- ・ それいけ！アンパンマン ～ちびおおかみと月のふしぎ～
- ・ 星の王子さま

・かいけつゾロリ ～うちゅうの勇者たち～

〈星空番組〉

・スペース・ミュージアム ～宇宙の宝石コレクション～

・そらんぼ 星空への招待

〈夜間特別投映〉

・リオデジャネイロに輝く星たち ～南十字星に願いを～

・オーロラの調べ 神秘の光を探る

・太陽系惑星ツアー ～天然温泉めぐり～

2 天文教育普及活動事業

天文教育研修、子ども科学教室、公開観望会など幅広く天文教育普及活動を行う。また、市内の中学校と連携して出前授業（移動式プラネタリウム）を行っている。また、市内の中学校1年生を対象にプラネタリウム番組を学習として観覧できるように学習参加券を配布した。

3 天文展示コーナー（コズミックギャラリー）

天文展示コーナーをコズミックギャラリーと位置づけ、JAXA と連携した展示や宇宙から見た地球環境の展示とデジタルシミュレーションをタッチパネルなどで操作できるモニターの設置、太陽系から銀河系までの天体情報を未来像も含めて展示し、宇宙へ旅立つ前の高揚感を高める場とした。また、プラネタリウム番組に関連して、アインシュタインの歴史年表やペーパークラフトロケット展示を行った。

4 移動天文車「きらら号」

口径20cmの高性能天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き、観望会を実施している。観望会には天文ボランティア（登録37人）が参加協力をする。また、天文現象（月食や日食など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘的な宇宙の姿を紹介している。また、新たに太陽を天体望遠鏡で直接見られるシステムを活用し、観望会の充実を図る。

● 博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。平成28年度は定例会を2回開催した。〔委員数14人〕

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政12年（1829年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年（1760年）の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると250年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成17年4月に米蔵の跡地に展示棟を併設し、資料館として開館している。

●施設概要

所在地 四日市市楠町本郷 1068 番地

敷地面積 1,229.23 m² (資料館 932.23 m²、駐車場 297 m²)

建築面積 338.09 m² 延床面積 448.24 m²

構 造	主屋・立会所	木造瓦葺平屋	209.75 m ²	(四日市市指定有形文化財)
	蔵	木造瓦葺平屋	39.08 m ²	(四日市市指定有形文化財)
	水屋	木造瓦葺平屋	2.76 m ²	
	展示棟	木造瓦葺 2 階建	196.65 m ²	

●施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋

展示棟：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

●来館者数

平成 23 年度：7,321 人 平成 24 年度：8,258 人 平成 25 年度：8,927 人 平成 26 年度：10,157 人

平成 27 年度：10,365 人 平成 28 年度：8,102 人

●事業概要

夜間特別開館（夏・秋）、写生大会・小中学生自由研究作品展、おひなまつりコンサート、ミニ門松づくり、企画展示コーナー作品展(市内外の文化サークル)、つるし雛とちりめん遊び展、語り部事業 など

・ 図 書 館

● 施設概要

・所在地	四日市市久保田一丁目2番42号
・敷地	4,738.01㎡
・構造	鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
・開館	昭和48年7月10日
・建物面積	延4,147.42㎡

(平成29年3月末現在)

1階	一般成人室	新聞雑誌コーナー20席・参考図書コーナー10席 ・軽読書コーナー他28席
	児童室	82席
	点字・録音資料室	6席
2階	一般閲覧コーナー	44席
	地域資料室	12席
	郷土作家コーナー	7席
	インターネットコーナー	3席
	展示コーナー	6席
	視聴覚ホール	100席
3階	学習室	149席
	一般研究室	56席
	スナックコーナー	53席 (図書館不用図書リサイクルコーナー・飲食コーナー含む)
	会議室	24席
	研修室	12席

● 業務内容

開館時間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時(午後5時以降は貸出・閲覧のみ) 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休館日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間(6月中の約10日間)、年末年始
館外貸出	本市及び三重郡三町の在住、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町の在住者を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自動車文庫	市内に91ヵ所の駐車場を設け、2台の自動車文庫で月1回(8月を除く)巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資料複写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写(複写料 白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料(一部を除く)に限る。
資料相談	電話、文書、来館のいずれも可

● 平成 28 年度事業報告

時代のニーズに合った『市民みんなが集う生涯学習の場、図書館』を目指し、『多くの人たちが集い、生涯にわたって学習活動を行う図書館づくり』、『多くの児童や青少年たちが集い、豊かな人間性や社会性、生きる力を育む読書環境づくり』に取り組んだ。

- ① 市民の多様な学習要望に応えられるよう、適切な図書資料の整備を図り、18,689冊の図書資料を受け入れた。
- ② 人権・同和関係資料の収集・提供に努めた。
- ③ 点字・録音図書の充実を図るとともに、点訳及び録音基礎講座を開催し、図書館サービスの啓発に努めた。また、活字での読書が困難な方に対しては、対面朗読ができる環境を整え、小さな文字が見えにくい方に対しては、拡大読書器や大活字本を整備している。
- ④ ボランティアや職員による読み聞かせや、各種講座を充実させることにより、図書館利用者の拡大を図った。また、テーマに沿って資料を展示する企画展示や、博物館など公共施設の事業と連携した関連図書の紹介をするなど、蔵書の広報に努め、市民が読書に親しめるよう工夫した。
- ⑤ なのはな文庫（学校貸出専用図書）の貸し出し、調べ学習への対応、学校図書館いきいき推進検討委員会への参加など、学校図書館と連携を図った。また、指導課から担当1名が派遣され、なのはな文庫や大型絵本の活用などについて、学校・幼稚園と連携強化を図った。さらに、事業として、小学校への自動車文庫派遣、図書館司書による児童への読み聞かせ等を行った。

新たに、市内高等学校が企画したPOPコンテストの展示を行ったり、三重県学校図書館協議会司書部北勢支部と館長との懇談会を実施したりするなどし、高等学校との連携を深めた。

● 月別事業実施表

月	事業名
4	「子ども読書の日」読みきかせ(16日・17日・23日・24日)
5	四日市こどもまつり(四日市ドーム)自動車文庫参加(15日)／出前講座(18日・21日)／子ども読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰伝達式(28日)
6	The・男の読みきかせ(4日)／おとなのためのストーリーテリング(5日)
7	おしゃべりえほんの会(7日)／夏休み絵本の読みきかせ(16日)／よっかいち読みよみ夏休みおはなしびっくりBOX(27日)／手づくり絵本講座(28・29日・8月4日)
8	「読書に関するエッセー」作品募集(1日～10月20日)／小学生版 夏のおはなし ぎんの会(4日)／子ども点字教室(5日)／夏休みおはなし会(17日)／夕すずみおはなし会(26日)／おはなし会(27日)
9	羽津小学校自動車文庫派遣(20日)／鉄道弘済会表彰伝達式(21日)／出前講座(27日)／中央小学校自動車文庫派遣(30日)
10	出前講座(20日)／絵本作家 U-suke さん「くろとん」読み聞かせ&トーク(23日)／手づくり絵本講座作品展示(26日～11月6日)
11	おしゃべりえほんの会(3日)／点訳基礎講座・音訳基礎講座(5・12・19日)／おとなのためのストーリーテリング(6日)／講演会「仏教童話、仏典童話の世界－宮沢賢治、東光敬、花岡大学そして伊藤桂一を巡って」(12日)／出前講座(12日)／秋の絵本の読みきかせ(19日)／読みきかせ入門「はじめのいっぽ」(27日)
12	冬のおはなし会(4日)／冬のおはなしぎんの会(11日)／出前講座(6日・21日)／ねこのピート絵本とマジックと音楽ライブ(17日)／「読書に関するエッセー」入賞者表彰式(21日)／冬のおはなしびっくりBOX(28日)
2	冬の絵本ライブラリー(11日)
3	おしゃべりえほんの会(2日)／健康体操で元気になろう(11日)／春のおはなし会(29日)

● 過去3年間の利用状況

		26年度	27年度	28年度
開館日数		274	277	277
入館者数	年間総数	285,866	342,517	318,100
	1日平均	1,043	1,237	1,148
登録者数	総登録者数	58,326	57,871	57,217
	個人登録者(※1)	57,799	57,339	56,681
	(うち15歳以下)	(10,872)	(10,879)	(10,790)
	団体登録者	312	317	329
	点字・録音(個人/団体)	58/157	61/154	57/150
	個人登録率(%) (※2)	18.9	18.4	18.2
貸出者数	貸出者総数	207,076	226,724	228,104
	本館	195,944	216,073	217,732
	自動車文庫	10,471	10,106	9,890
	点字・録音	661	545	482
貸出冊数	貸出冊総数	887,793	927,178	912,075
	本館・(※3)	823,290	863,999	850,287
	(うち雑誌)	(25,609)	(26,066)	(24,737)
	自動車文庫	63,444	62,402	61,138
	(うち雑誌)	(1,097)	(1,187)	(1,105)
	点字録音資料室	1,059	777	650
	録音	1,005	690	574
	点字	54	87	76
	市民1人当り貸出数	2.8	3.0	2.9
調査相談 件数	総数	5,882	7,682	8,127
	口頭	5,811	7,626	8,084
	電話	71	45	40
	文書・メール	0	11	3
予約 リクエスト	総数	50,235	54,506	55,316
	本館(窓口)	15,895	16,297	15,494
	本館(インターネット)	28,024	31,968	33,195
	自動車文庫	6,316	6,241	6,627
複写	件数	2,853	3,064	2,971
	枚数	16,396	18,587	18,175
人口(各年度の3月31日現在)		312,359	312,115	311,672

※1 個人登録者は、5年以上未利用者数を除く

※2 個人登録率＝(個人登録者＋点字・録音個人)÷人口

※3 本館は、個人・団体・なのはな文庫等を含む

● 蔵書統計（平成 29 年 3 月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	10,437	5,429	5,008	287,889
本館児童	3,026	1,626	1,400	88,127
本館外国語（成人・児童）	37	4	33	3,746
本館雑誌（成人・児童）	2,465	1,957	508	22,994
点字・録音資料	93	0	93	4,241
自動車文庫	2,530	2,105	425	35,803
自動車文庫雑誌	101	93	8	449
総計	18,689	11,214	7,475	443,249

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料	196	111	85	9,606

● 図書購入費（当初予算）の推移

（千円）

年度	27年度	28年度	29年度
総額	118,496	125,513	138,301
図書費	25,578	25,578	25,578
その他資料費	3,350	3,350	3,350

・市民スポーツ

〈スポーツの振興〉

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、施設の充実や各種の事業の推進を図るとともに、自立した地域スポーツを組織化するため、総合型地域スポーツクラブの充実を目指す。

- 各種大会(28年度)
 - スポーツ推進委員関係行事 …………… 四日市市民スポーツフェスタ他 5大会
 - レクリエーション協会関係行事 …………… レクリエーション大会他 6大会
 - スポーツ少年団関係行事 …………… スポーツ少年団大会他 7大会
 - 体育協会関係行事 …………… 市民バトミントン大会他 12大会
- 各種講習会(28年度)
 - 3講習会 …………… 429名参加
- 各種スポーツ教室(28年度)
 - 80教室 …………… 5,213名参加
- 学校体育施設開放(28年度)
 - 39小学校・22中学校…………… 体育館・グラウンド・武道場・プール・テニスコート
(楠北交流会館を含む)
- 総合型地域スポーツクラブ(28年度)
 - 6ヶ所…………… 四日市ウェルネス倶楽部、保々ふれあいスポーツクラブ、楠スポーツクラブ、スポーツクラブさんさん(三重)、楠北地区総合型地域スポーツ・文化クラブ ビバ橋北、内部地区総合型地域スポーツ うつべ☆スター

〈体育施設の状況〉

- 利用状況の推移 (人)

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
962, 758	980, 169	993, 673	1,010, 584	1,016, 706

注 スポーツ以外の利用含む

- 指定管理者の導入状況

1) 四日市市運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 名称：四日市市体育協会グループ	中央緑地体育館など28施設

2) 四日市ドーム指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日 名称：J N体協グループ	四日市ドーム

3) 桜運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 名称：四日市市体育協会グループ	桜運動施設

● 体育施設の設置状況

(平成29年3月末日現在)

施設区分	設置ヶ所数	面数等	設備の特徴など
全天候型多目的施設	1	1	ドーム型 (9,707㎡) ・人工芝
体育館	3	4	トレーニング室併設 (1ヶ所)、武道場併設 (1ヶ所)
陸上競技場	1	1	第2種公認・全天候型トラック400m、照明設備 (8ヶ所)
プール	2	5	流水プール (1ヶ所)、温水プール (1ヶ所)
野球場	4	5	照明設備 (1ヶ所)
ソフトボール場	2	3	
サッカー・ラグビー場	3	4	照明設備 (1ヶ所)、グリーンサンド (2ヶ所)
テニスコート	4	26	照明設備 (2ヶ所)、人工芝 (20面)
運動用舟艇場	1	1	30艇係留
弓道場	1	1	5人立ち
武道場	1	4	柔道・剣道場
相撲場	1	1	屋形付土俵
多目的運動広場	2	2	照明設備 (1ヶ所)
グランドゴルフ場	1	1	河川敷
地区運動広場	14	—	地区による管理 (ソフトボール場・テニスコートなど)

・ 国体推進

平成30年に高校総体、平成 33 年に第 76 回国民体育大会 (三重とこわか国体) が開催される。国体については 8 種目の競技が開催されることが決まっており、新たな体育館やサッカー場、テニスコート、野球場などの施設整備をはじめ、準備を進めるとともに、完成後のスポーツ施設を活用すべく、東京オリンピックの事前キャンプの誘致を行い、カナダ体操チームの誘致が決まった。

・学校人権教育

人権問題を解決する行動力を育成するための人権教育の充実

人権問題を自らの問題と捉え、身近なことから取り組むとともに、主体的に自己選択・自己決定し、問題を解決する行動力の育成を図ることにより、子どもたちの現在及び将来における自己実現を目指します。また、教職員の人権意識を高め、人権教育における指導力向上を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進を図ります。

- ① 「四日市市人権教育・啓発基本方針」「第3次四日市市学校教育ビジョン」「平成28・29年度学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努める。
- ② 各中学校区の「子ども人権フォーラム」でねらいとする【子どもにつけたい力】が、それぞれの小中学校の全ての学年に系統的に位置づけられた人権教育年間指導計画（人権教育カリキュラム）の作成に努める。
- ③ 校内研修において教職員の学習機会の充実のため、学校人権教育推進人材バンク登録者（人権教育リーダー育成研修修了者）等を活用し、OJTの促進を図る。
- ④ いじめや差別のない学校づくりに向けて、教職員・保護者を対象に一人一人の人権意識を高める研修を継続する。
- ⑤ 中学校区単位で、子ども人権フォーラム・授業交流・情報交換会等の実践を通じて、校園や地域関係組織との連携を一層深める。
- ⑥ 人権センター・人権プラザと連携し、部落問題や外国人・障害者・女性・子ども・性的少数者等個別の人権問題の解決に向けた四日市市全域を含むネットワークを構築することで、差別をなくし、子ども・保護者が安心できる教育環境づくりを推進する。

□幼児・児童・生徒の人権活動

- ・ 人権啓発ポスターの募集（対象：保育園・幼稚園児、小学生、中学生、高校生／募集締切：9月16日）
- ・ 人権作文の募集（対象：小学生、中学生／募集締切：1月13日）
- ・ 中学校区子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／22中学校区で随時開催）
- ・ 人権のひろば展（開催日：12月4日、12月17日～1月15日／展示内容：人権ポスター）

□教職員資質向上・人材育成

- ・ 人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校、保育園・幼稚園推進委員／5月13日）
- ・ 人権教育実践研修会（対象：小・中学校教職員／8月18日）
- ・ 人権教育教頭研修会（対象：小・中学校教頭／8月16日）
- ・ 人権教育初任者研修会（対象：新規採用教職員全員／8月25日）
- ・ 人権教育転入者研修会（対象：市外からの小・中転入教職員等／8月25日）
- ・ 人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校対象教職員34名／研修日3回）
- ・ 人権教育リーダーフォローアップ研修会（対象：小・中学校教員約50名／12月26日）

□いじめや差別をなくす人権意識向上事業

- ・ リーフレット「いっしょに考えよう～いじめ問題～」（保護者編）

□指導用図書及び資料の配付

- ・学校人権教育のてびき（第58集）
『部落史学習プログラムの展開』
- ・～見直そう、振り返ろう～ 自らの人権感覚
（事例集 学校教育関係者編）《H26年度版》

□県・市人権教育推進事業

事業名	対象	期間
市人権教育推進校 指定事業	四郷小、大谷台小、桜台小、橋北小、神前小、常磐小、 日永小、保々小、笹川中、三滝中	1年
子ども人権文化創造事業・ 自己実現支援事業	日永地区、常磐地区、保々地区、神前地区の 子ども人権文化育成協議会	1年
市中学校ブロック 人権文化創造事業	全中学校ブロック（中学校区の全校園）	1年
〔県補助事業〕 学校支援地域本部推進事業	西笹川中学校区、三重平中学校区、中部中学校区	1年

● 人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	建物 延べ面積（㎡）	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 TEL351-7609	S50.11.7	RC造 2F	260.43	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール
赤堀児童 集会所		S52.3.31	RC造 2F	310.13	1階 ホール、幼児室、事務室 2階 図書室、学習室
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 TEL346-2803	S48.9.30	RC造 2F	253.26	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31	S造 平屋	258.17	ホール、学習室、図書室、幼児室
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 TEL339-0909	S48.3.15	RC造 2F	301.00	1階 事務所、相談室、料理実習室 2階 ホール、図書室
小牧児童 集会所	TEL339-1287	S50.3.31	S造 平屋	491.96	学習室、図書室、集会室
人権プラザ 神前	寺方町2281 TEL326-0840	S50.4.30	RC造 2F	338.86	1階 事務所、料理実習室、相談室、談話室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町2251 TEL326-5022	S52.8.31	S造 平屋	562.39	ホール、学習室、図書室、幼児室、図 工室、ステージ、職員室
神前 柔道教室	曾井町494-3 TEL326-4236	S52.5.25	S造 平屋	227.48	柔道場、相撲場

教育・視聴覚センター

● 施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館 6, 7, 8F 日永東一丁目2-28 適応指導教室（ふれあい教室）
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 適応指導教室

● 業務内容（平成28年度）

事業名	内容
研究	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課員による課題研究の推進 ○ 教育図書、研究資料の整備、提供 ○ 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の企画・運営 （教職員研修講座の企画・運営、「教師力向上のために」による自己相互研鑽の推進、若手教員・ミドルリーダー教員・ベテラン教員研修の推進、問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック活用推進協力校の指定 等） ○ 乳幼児教育研修の企画・運営 ○ 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
各種連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三泗教育発表振興会（児童・生徒の発表に関する事務・調整等） ○ 四日市子ども科学セミナーの企画・運営 ○ 企業連携・大学連携事業・JAXA連携事業の実施（連絡・調整等）
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校や発達・行動等に課題のある子どもと、その保護者・教職員に対する相談支援（来所相談、学校・園への巡回相談（就学相談を含む）、電話相談、他の相談機関との連携調整） ○ 「わくわく教室」「ふれあい教室」での、不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 ○ 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 ○ 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 ○ 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 ○ 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープ、プロジェクターなどの貸出し